

はやま住民福祉センターだより



詳細はホームページをご覧ください⇒

今月のNEWS

畑(農作業)を通じた地域づくりが始まります！ ～ 農福連携(のうふくれんけい) ～

堀内の亀井戸橋のそばにある、オフィス兼貸スペース(SEE THE SUN)にて、地域活動が始まっています。堀内地区協議体から始まった「みんなの貯筋」(「みんなの貯筋実行委員会」主催・一般介護予防事業・通いの場)での運動の後、広い庭を活用して農作業を試みることにしました。盛土された6畳程度の区画と庭の一角を掘り起こし、2つの場所の土壌づくりがスタート。掘り起こした土の中に堆肥を入れたり、落ち葉を燃やして灰にして混ぜるなど春に向けて準備をしています。

11月の小春日和に、協議体コラボ活動「農援隊めぐり」で作ったサツマイモを焚火で焼いていると、煙を見つけたお散歩中の保育園児たちが「何をしているの??」と遊びにきました。焼き上がりを待って、みんなで一緒に焼き芋を食べ、心も体もホクホク。地域の方と園児たちの新しい”つながり“が生まれた瞬間でした。春に向けて園児たちや地域の方と一緒に農作業が出来る取り組みを考え中です！堀内のみなさん、ぜひご注目ください！

いま、各地で農業と福祉が連携した**農福連携**の取り組みが行われています。子どもから高齢者まで、誰でも楽しく一緒に作業ができ、農作業を通じて新しい地域の”つながり“づくりが期待できます。

昨年度は下山口でも、地域の方たちによる大根づくりが行われ、参加者からは大好評でした。今年度はコロナ禍で活動ができませんでしたが、「またぜひやりたい！」と皆さんおっしゃっています。葉山町内の各地域でこの取り組みが出来るようになるといいですね！

葉山町内で、使っていない庭や「土地を貸してもいいよ。」という方がいましたら、社会福祉協議会に声を掛けてください。ご協力をお願い致します！また、地域の皆さまとお話していると、「昔は畑仕事をしていたよ。」とか「子供が種子に関係する仕事をしているよ。」など農作業に馴染みのある方がたくさんいらっしゃいます。農作業のお手伝いをしてもいいよ！といった方もぜひ、ご連絡ください。



農福連携とは

障害者等が**農業分野**で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していくなど**農福連携**に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む**農業分野**において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

近年、全国各地において、様々な形での取り組みが行われており、**農福連携**は確実に広がりを見せています。



車イス等の貸出しをしています

- ケガや病気のため一時的に車椅子等を使用する場合に2か月まで貸出
- 通院や外出、地域の活動などに一時的に使用する場合に1週間まで貸出
(葉山町民の親族等も可)

貸出目録： 車イス(介助式・自走式)
松葉杖 歩行器 4点杖
※貸出数に限りがあります。



今月のスタッフひとこと

生活支援コーディネーターとして堀内地区を担当しています。今春で3年を迎えますが、皆様の個性的な優しさやエネルギーに大変助けていただき、感謝しております。新たな活動や拠点も生まれ、堀内らしい今後の展開を楽しみに携わっています。様々なご意見に学ばせていただきながら、少しでもお手伝いが出来ればと動いておりますので、どうぞお気軽にお声がけください。今後共よろしくお祈り致します。(高波)